

第13回 キャリアコンサルティング技能検定2級論述解答例（中里）平成26年12月実施分

問1. 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何か記述せよ。（20点）

「部署異動を経験して適性ある部署で定着という会社のパターンを想定し、8年間経理部門で実績を残してきたが、総務部門へ人事異動となった。経理のスペシャリストとして働き昇進するというプランを描いていたが実現できないのではないかと、総務の仕事は自分に向いていないのではないかと思い転職を考えているが、本当に転職出来るのかと不安にも思っている。」

問2. キャリア・コンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。（20点）

「自分が思い描いていた将来プランが想定外の部署異動により実現できないのではないかと不安になり、心の整理がつけられずにいる。また、自己の職業適性や自己理解に思い込みがあり、好き嫌いかで、仕事に前向きか集中できずに辞める（転職）かなど思考が極端であり、中・長期的なキャリアプランの視点が持っていない事。」

問3. あなたは上記2つの「問題」を合わせ、相談者を支援するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか、あなたの具体的な方策を記述せよ。（60点）

- ① 「相談者の職業適性や自己理解について明確にすることで、相談者自身が今まで思い描いていたキャリアプランの見直しと再構築を行い、相談者のやりがいを尊重し、自らが今後の働き方について自立的に選択できるよう支援することを目標とする。」
- ② 「これまでの実績や評価を受容し、想定外の部署異動への不安な気持ちに寄り添うことで相談者の自己肯定感を維持しつつ、これまでと現在の仕事での同異点について考えて頂くことで、これまでの経験が今後へ生かせるのではないかという気づきを促す。また、これまでの仕事を見直すことで、自分の強みや可能性を明確にし、職業適性及び自己理解を促し、将来的なキャリアビジョンを明確にして、ライフキャリアプランの再構築を行えるよう支援する。必要であれば、転職について一緒に検討をしていく。」